

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、消化器内視鏡科では、本学で保管している大腸内視鏡検査所見と内視鏡治療検体の病理学的所見および診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の大腸内視鏡検査所見、内視鏡治療検体の病理学的所見および診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 当院における直腸神経内分泌腫瘍(NET)に対する治療戦略の妥当性検討

[研究対象者] 2020年4月から2023年9月の間に東京女子医科大学病院消化器内視鏡科で内視鏡治療(内視鏡的粘膜切除術：ESMR-Lあるいは内視鏡的粘膜下層剥離術：ESD)を施行した方

[利用している大腸内視鏡検査所見、内視鏡治療検体の病理学的所見および診療情報等の項目]

大腸内視鏡検査所見：腫瘍の局在、病変径、術時間

内視鏡治療検体の病理学的所見：一括切除率、R0切除率、標本径、病変径、切除断端、脈管侵襲

診療情報等：診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患名、術後出血率、再発率(転移・局所再発)

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

10mm以下の直腸神経内分泌腫瘍(NET)に対しては内視鏡治療が推奨されておりますが、標準化された治療法は確立されておられません。本研究では、このような背景のもと、腫瘍径に応じて内視鏡治療法を選択する当院の治療方針の妥当性を検討することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2026年12月までの間(予定)

[この研究での大腸内視鏡検査所見、内視鏡治療検体の病理学的所見および診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした大腸内視鏡検査所見、内視鏡治療検体の病理学的所見および診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 消化器内視鏡科 教授 野中康一

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 消化器内視鏡科 松永卓士

電話：03-3353-8111 (応対可能時間：平日9時～16時)